

下野毛地区

下野毛地区は梨畑が点在する東京向けの郊外農作地でしたが、昭和20年代後半から公営住宅が建設され、昭和30年代にはいと、名糖、クノール、キャノンといった大手企業の工場や福利厚生施設などが点在するようになりました。この頃から、東京都内で独立創業した中小製造業の移転先として着目されるようになり、1階が工場、2階が住居といった町工場が建ち並ぶようになりました。

